

# HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

2007.12 153号

## 神戸別院にて5日間に渡り お待ち受け法要総代総参拝開催

十月一日から五日間、神戸別院で「親鸞聖人七百五十回大遠忌のご勝縁にお念仏を慶び、次世代に伝える」と題し親鸞聖人七百五十回大遠忌法要お待ち受け全寺院総代別院総参拝を行った。大遠忌法要を四

年後にお迎えするため、まず、寺院の維持発展に常日頃から尽力いただいている門徒総代の皆様に意識を高めてもらい、各寺院で大遠忌法要をお迎えする中心と成つてもらいたいとの願いから開催された。五日間で教区内全三十九組から千二百名

を越える門徒総代の方々と引率・スタッフ等を含め、延べ二千名に及ぶ参拝があった。本堂で勤修された法要では、参加された組の代表僧侶と教区内の特別法務員が出動し、荘厳な雰囲気の中で執り行われた。その後の「法話では「現生正定聚」と題して現生

正定聚講師の竹内俊之師(一日)・増井浄見師(二日)・藤榮行信師(三日)・多田満之師(四日)・大西耕雲師(五日)が布教をされた。午後の部では、兵庫教区教務所長松村彰道から、「親鸞聖人七百五十回大遠忌に向けて諸事業について」主旨説明を、その中で「どのような組織においても後継者育成は不可欠であります。僧侶・門信徒の後継者を育成しなければ宗門の展望は開けない。どのような時代



キッズサンガが、この度の大遠忌を縁として展開されていくこととなりました。



総参拝スナップ(法要・ご法話・コーラス・講演)

がやってきても、お浄土のお法りこそが真の教えであることを伝えられる人材を育てていきたいと思います。」と、その願いを述べた。寺婦・仏婦等のコーラスでは、コーラス推進員(一日)・阪神北組コーラス「ほろろみ」・阪神南組コーラス「合同」(二日)・赤穂北組コーラス(三日)・阪神東組コーラス「香華」(四日)・神戸東組コーラス「コンビ」合唱団(五日)が仏教讃歌を歌い、美声を響かせていた。その後寺婦・仏婦有志による本願寺音頭(おやまおんど)・分陀利華(はなおんど)が華やかに披露された。アトラクションでは、俳優の小沢昭一氏が「小沢昭一の節談説教のころ」と題して講演をいただき、なぜ節談説教に興味を持ったのかについて話された後、山伏・弁円で有名な「説教板敷山」を一席していただいた。節の持つ魅力とその内容に、参加された方々も感動されている様子だった。閉会式では、門徒総代会の松井信博副会長(一日)・鯉ノ内啓邦監査(二日)・中西正一会長(三日)・大川久夫副会長(四日)・山木孝志幹事(五日)が、決意表明をされた。親鸞聖人七百五十回大遠忌のご勝縁に「現生正定聚」のみ教えを聞き、いま、まさに、仏の智慧を得た仲間として、お念仏を慶び、次世代に伝えるため一丸となつて邁進することが決意された。大遠忌の機運を盛り上げる五日間となった。

初夏のこと、境内に自生のスイカの蔓が伸び、花を咲かせていました。きつと大きなスイカの実が出来るだろうと、心待ちにしていたのですが、一向に実がなりません。農業をしている「門徒」に聞くと、「四回肥料をやらないと出来ないとのこと。このスイカには肥料をやつてはいけません。蔓さえ伸びれば、花さえ咲けば出来るものと思っていました。スイカに肥料をやらないと、スイカが出来ないと人間も同じではないでしょうか。ただ人間の身体をしても、仏法を聞かなければ、人間らしい人間にならないのではないのでしょうか。いま、子どもたちにも仏法に遇つて頂く為の手立てが必要で、それが、キッズサンガであり、念仏者の使命であります。

教区だより		1月・2月				
1月	1日(火) 元日会	7:00~	6日(水) 第2回連研のための研究会	10:30~		
	8日(火) 事務開始式	9:00~	8日(金) ビハークラ1泊研修会	ふじの里 9日まで		
	15日(火) 別院常例法座	講師:堀川宣裕師	13:30~	10日(日) 仏青研修会	11日まで	
	16日(水) 別院常例法座	講師:堀川宣裕師	13:30~	14日(木) 講師団研修会	10:30~	
	20日(日) 別院仏婦報恩講	講師:松村彰道輪番	13:30~	僧侶研修会	13:00~	
	21日(月) ビハークラ連区協議会	津村別院	13:00~	15日(金) 別院常例法座	13:30~	
	23日(水) 仏婦委員総会		10:30~	16日(土) 別院常例法座	13:30~	
	24日(木) 教区門信徒会運動研修協議会		13:00~	17日(日) 連研履修者研修会	10:30~	
2月	2日(土) 第6回布教大会	和歌山教区	終日	18日(月) 第6回連続研修会	講師:藤場俊基師	16:00~
	第3連区仏社連絡協議会		3日まで	20日(水) 第3連区青年布教使研修会	和歌山教区	21日まで
				23日(土) 第3連区近畿ブロック門徒推進員研修協議会	滋賀教区	24日まで
				24日(日) 単位会長・寺院代表者研修会		10:30~

谷本廟)ノ布教団、役員会◆17日青僧会、Sプロジェクトスタツプ会議◆18日滋賀教区高島組正念寺ノ寺婦、近畿ブロック寺婦研修会事前打ち合わせノ寺婦、近畿ブロック音楽法要結果習礼◆19日別院参拝、城崎組光行寺ノ仏責役員会ノ寺婦、コーラス練習◆21日別院参拝、大阪教区島下組願成寺ノ別院参拝、四州教区宇和島組照護寺豊岡親和会ノ別院参拝、宇和島念仏奉仕団◆22日少年、役員会◆23日別院参拝、岐阜別院仏教壮年会ノ別院参拝、大阪教区榎並組榮照寺仏教婦人会◆24日青僧会、役員会ノ別院参拝、別府別院ノ別院参拝、和歌山県職員退職者会伊都支部◆25日寺婦、近畿ブロック寺族婦人会研修会、神戸国際会議場◆26日まで◆27日青僧会、Sプロジェクトお月見コンサート(福岡町野外活動センター)◆28日門推、第45回研修会(揖龍東組善行寺)ノ仏壯、丹波、但馬ブロック研修会(水西組正福寺)◆29日基推、兵庫教区大遠忌法要委員会常任委員会◆30日基推、キッズサンガ連絡協議会ノ仏婦、仏婦常任委員会◆31日保育、全国大会実行委員会



各地で  
キッズサンガ  
モデル事業開催

全寺院子ども集い、キッズサンガの開催に先駆け、組単位でキッズサンガのモデル事業が阪神東組・姫路中組・水西組がサポーターを中心として開催された。モデル事業の企画実行に組内寺族・門信徒が積極的に参加することの事業は、各寺院で開催するキッズサンガへの足がかりとし

- 開催するもので、組内全寺院よりこの企画に参画していくことに大きな意味がある。
- 阪神東組では毎年開催されている「親と子のつどい」にてサポーターをはじめ組内寺族・門信徒の若婦人会を中心に開催。オリエンテーションでは子どもたちに作法指導を行い、式典、法話、ゲームといったプログラムでキッズサンガが開催された。
- 水西組では、正覚寺を拠点として1泊2日の日程で開催。初日には竹細工やカレー作り、仏教讃歌、仏参指導、夜には仏教アニメのビデオ上映やキャンドルサーピスなどを行い、2日目に竹細工で作った竹とんぼで遊んだ。
- 姫路中組では組内各寺院でそれぞれ開式を行い、会所寺院(法性寺・池本組長)へ集まり、ゲームや雅楽、紙芝居、ウォークラリーを行った。

**敬 弔**

兵庫教区婦人会連盟手帳「Buddhist Woman's Pocketbook」の配布が開始された。連盟講師天岸浄圓師による季節の法話や浄土真宗の教えと作法などが掲載。1冊450円、お問合せ、申込は教務所内「兵庫教区仏教婦人会連盟担当」まで

加来 美子(養父組浄念寺前坊守)9月9日、100歳で往生

寺田 寛了(揖龍西組浄教寺住職)11月2日、90歳で往生

寺田 文子(揖龍西組浄教寺坊守)11月9日、87歳で往生

浅井 眞弓(阪神北組称名寺前住職)11月11日、64歳で往生

神光 すぐる(神姫組正善寺前坊守)11月16日、84歳で往生

石見 美子(姫路東組徳證寺坊守)11月18日、75歳で往生

\*12月6日現在

**仏婦手帳発売**

